

小社のロングセラー書籍特集！

以文社はこれまでネグリ＝ハートの『〈帝国〉』を中心に、ジョルジョ・アガンベンの主著『ホモ・サケル』、フランス哲学界の第一人者J=L・ナンシー著『無為の共同体』等を主に数々の話題作を世に送り出してきました。特にこの3書籍はもはや人文書の定番商品と言っても過言ではないと思います。棚に置いていない場合は是非ご検討下さい。今後も精力的に「新しい発見」を求めた出版活動を心がけていく所存です。

- 『〈帝国〉 グローバル化の世界秩序とマルチチュードの可能性』 10刷
- 『ホモ・サケル 主権権力と剥き出しの生』 3刷
- 『無為の共同体 哲学を問い直す分有の思考』 4刷

〈帝国〉 グローバル化の世界秩序とマルチチュードの可能性

アントニオ・ネグリ、マイケル・ハート 著

水嶋一憲、酒井隆史、浜邦彦、吉田俊実 訳

A5判 上製カバー装 592頁 本体価格：5,600円

— 世界秩序＝〈帝国〉とは何か？ —



グローバル化による国民国家の衰退と、生政治的な社会的現実の中から立ち現われてきた世界秩序＝「帝国」とは何か？グローバル化を包括的に再考し、それに対するオルタナティブな実践の可能性を構想する。

ホモ・サケル 主権権力と剥き出しの生

上村忠男 解題＝闘からの思想—ジョルジョ・アガンベンと政治哲学の現在

ジョルジョ・アガンベン 著 高桑和巳 訳

A5判 上製カバー装 288頁 本体価格：3,500円

— 近代的主権の位相をとらえた画期的な政治哲学 —



近代主権論の嚆矢カール・シュミットの「例外状態」の概念をアーレントの「全体主義」とフーコーの「生政治」の成果をふまえて批判的に検討、近代的主権の位相をとらえた画期的な政治哲学。現代政治の隠れた母型を明かすアガンベンの主著。

無為の共同体 哲学を問い直す分有の思考

ジャン＝リュック・ナンシー 著

西谷修、安原伸一郎 訳

A5判 上製カバー装 288頁 本体価格：3,500円

— フランス思想界でデリダに続く世代を代表する哲学者！ —



共同性を編みあげるのは何か？神話か、歴史か、あるいは文学なのか？あらゆる歴史＝物語論を超えて、世界のあり方を根源的に問う、いま最もアクチュアルな存在の複数性の論理。現代の根源的な〈生〉＝倫理を問う。

番線	冊数	
	冊	以文社 ISBN 978-4-7531-0224-2 C0010 本体価格：5,600円＋税 〈帝国〉 グローバル化の世界秩序とマルチチュードの可能性 アントニオ・ネグリ、マイケル・ハート 著 水嶋一憲 訳他
	冊	以文社 ISBN 978-4-7531-0253-2 C0010 本体価格：3,500円＋税 ホモ・サケル 主権権力と剥き出しの生 ジョルジョ・アガンベン 著 高桑和巳 訳
	冊	以文社 ISBN 978-4-7531-0215-0 C0010 本体価格：3,500円＋税 無為の共同体 哲学を問い直す分有の思考 ジャン＝リュック・ナンシー 著 西谷修、安原伸一郎 訳

※上記の書籍は注文書籍となります。（FAXまたは電話にてご返信お願い致します。）

FAX:03-6272-6538

TEL:03-6272-6536

<http://www.ibunsha.co.jp/>

101-0051 東京都千代田区神田神保町2-12 株式会社 以文社